

## 2016 年度 小委員会活動成果報告

(2017 年 1 月 23 日作成)

小委員会名	環境建築小委員会		主 査 名：石野久彌 就任年月：2015 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (設備運営委員会)		委員長名：羽山広文 主 査 名：赤司泰義
設 置 期 間	2015 年 4 月 ～ 2019 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技術動向と将来予測に関する討議、委員会活動の方針策定</li> <li>・環境建築の設計・運用事例と実績データの収集と分析</li> <li>・環境建築の評価研究や技術の開発、性能予測研究の事例収集と分析</li> <li>・2016 年度大会において OS を企画・実施</li> </ul>		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無		
	主査：石野久彌 (首都大学東京)、幹事：永田明寛 (首都大学東京)、中山哲士 (岡山理科大学)、委員：赤司泰義 (東京大学)、宇田川光弘 (工学院大学)、郡公子 (宇都宮大学)、木幡悠士 (NTT ファシリティーズ)、下正純 (竹中工務店)、田島昌樹 (高知工科大学)、長井達夫 (東京理科大学)、丹羽勝巳 (日建設計)、羽山広文 (北海道大学)、藤村淳一 (大成建設)、丸山純 (松田平田設計)、山本佳嗣 (日本設計)		
設置 WG (WG 名：目的)	なし		
2016 年度予算	100,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：無	

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	なし
講習会	なし
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	1. シンポジウム「新世代の環境建築システム—デザイン論と技術論」を企画刊行運営委員会 環境建築システム刊行小委員会と共同で開催 (6/3 建築会館ホール) 参加者数 119 名
大会研究集会	なし
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	なし
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	6 回の小委員会 (第 5 回は 2016/2/13、第 6 回を 2017/3/8 に開催予定)、および見学会を開催し、幅広い情報交換と討議を行った。 2016 年度大会では OS「環境建築の実態調査」を企画し、計 6 編 (2 セッション) の応募があった。
委員会活動の問題点 ・課題	特になし

## 2016 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価)・最終年度評価)

総合評価 (4 段階評価)	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px;">A</span> <span>B</span> <span>C</span> <span>D</span> </div>
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	<p>環境建築小委員会を 6 回開催（第 5 回を 2017/2/13、第 6 回を 2017/3/8 に開催予定）した。環境建築に関する技術動向や将来予測に関する討議、設計・運用事例に関する実績データの収集と分析、環境建築評価研究や技術の開発、性能予測研究の実例収集や分析を行った。また、環境建築（見る・使う・学ぶ）第 3 弾企画についての検討を開始した。</p> <p>各回の主な話題提供</p> <p>■第 1 回 2015/6/20</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・室内長波放射交換の簡易モデリング</li> <li>・月間気象データを用いる期間熱負荷の簡易計算法</li> <li>・月平均日積算値日射熱取得の簡易計算法</li> <li>・日除のある窓の月平均日積算日射熱取得の簡易計算法</li> <li>・大規模総合大学キャンパスにおける省エネルギーの実績</li> </ul> <p>■第 2 回 2016/8/29</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ZEB 化庁舎（島根県雲南市役所新庁舎）における環境性能に関する研究</li> <li>・新柏クリニック新築計画</li> </ul> <p>■第 3 回 2016/10/16</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「押上駅前自転車駐車場」見学会</li> <li>・自然換気併用外気制御システムをもつゾーンの熱平衡計算</li> </ul> <p>■第 4 回 2016/12/16</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然換気併用外気制御システムをもつゾーンの熱平衡計算</li> </ul> <p>■第 5 回 2017/2/13</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境建築「NTT ファシリティーズ新大橋ビル」見学会</li> <li>・大崎フォレストビルディング、大成札幌ビルの設計要点説明</li> <li>・刊行物環境建築の内容方針について</li> </ul> <p>■第 6 回 2017/3/8</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・（埼玉工業大学ものづくり研究センターの設計内容、室内居住者の環境評価法の試案、新企画刊行物環境建築に取り上げる候補作品について）</li> </ul>

- 総合評価は 4 段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
  - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
  - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
  - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
  - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。